

2006 年度

科目名	対象学科・学年 文学部日文2 回生	担当者	
基礎ゼミ I		宇都宮啓吾	
授業テーマ 現代日本語方言について考える			
授業の概要と目標 現代日本語方言を対象としていきます。どこがどう方言らしいのか、どのような意味・用法なのかという問題について、共通語や類似の表現と比較しながら考えていきます。 「何となくわかっているけどうまく言えない」微妙な方言を自分なりに考察し、説明する（説明できる）ようになりましょう。			
評価方法 授業の出席日数と課題提出、課題への取り組み方で総合的に評価します。			
テキスト 特に指定しません。適宜、プリントを配布します。	著者	出版社	
参考書	著者	出版社	
授業スケジュール・内容 演習形式をとります。最初の数時間については、教員の側で日本語を考える上での視点をいくつか紹介し、それに沿う形で講義と発表を行ないます。その後で、みなさんの演習発表へと移ります。発表については、 1、 問題提起 2、 問題解決の方法 3、 問題解決の手続き 4、 結論 という形で発表を望みますが、まずは、自分の考えを「ことば」にするところから始めてください。失敗も成功への第一歩。とにかく、「考える」ことを習慣づけてください。			
	時間	テーマ	補足
導入	1	オリエンテーション	演習計画の説明・打合せ
事前指導	2	国語学研究法	語彙（意味・用法）
	3		位相差（世代や性差）
	4		方言の変化（方言資料の活用）
演習	5	具体的発表	学生による個別発表
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
14			
まとめ	15	本演習の総括	全体の纏め今後の研究への発展